

歯科技工士にできること ～医科診療科との連携～

森下裕司、佐伯和紀、古川洋志

2021年4月愛知医科大学病院形成外科はエビテーゼ・プロテーゼの要望に応えるべく体表面補綴外来を開設した。体表面補綴外来診療において必要とされる装具の製作・開発部門として研究室が設置され、製作担当者として歯科技工士が採用となった。歯科技工士は様々な材料を加工し、患者にぴったりと合った装具を製作することのできる技術者であり、その技術は歯科だけでなく多くの医科診療科から注目されている。今回、形成外科所属の歯科技工士として製作した各種の装具を供覧し、歯科技工士と医科診療科の連携を報告する。